

私たちは、患者さんの人権を尊重し、
地域に必要な基幹的中心的な医療を
担当すると共に、さらに高次の医療に
対応できるよう努力します。

2023 Autumn Vol.075

編集：広報委員会・広報課

印刷：有限会社 アクト

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17

TEL075-391-5811(代)



清水寺（撮影 堀居 恭子）



Index

専門医がお答えします — 第64回	2
あなたの腎臓大丈夫ですか？ eGFRで毎年腎機能をチェックしよう！	
専門医がお答えします — 第65回	3
もうすぐ2025年！ どうなる褥瘡？ どうする褥瘡？	
臨床検査部門のご紹介②	4
第2回「検体検査について」	
知トク情報コーナー	5
栄養科より「秋のレシピ紹介」	
ナースの広場	6
外来化学療法センターのご紹介	
連携医ネットワーク	6
当院の医師・職員紹介	7



京都桂病院マスコットキャラクター
かつらちゃん と ゲノム博士

あなたの腎臓大丈夫ですか？

eGFRで毎年腎機能を チェックしよう！



腎臓内科 部長
宮田 仁美
(血液浄化センター長兼務)

今回は標準化eGFRと個別化eGFRについてお話しましょう。

eGFR (読み方：イージーエフアール) と書かれた項目を病院や検診などで目にされることがあると思います。これは血液中のクレアチニン値、年齢、性別から推算したもので、腎機能標準値 (標準化eGFR 単位は $\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$) として用いています。日本語では推定糸球体ろ過量と言います。標準的な体格の人に合わせた数値となります。

この標準化eGFRは、90以上が正常、60未満が持続すれば慢性腎臓病 (CKD) と言われるようになります。CKD診断に使用されるものです。ただし、体重や身長などの体格を反映していないので、腎機能に応じてお薬の量を調節するには、個別の腎機能を確認する必要があります。つまり、薬剤調整は皆さん各々の体重、身長を加味して、個人の体格に合わせた個別化

eGFR (単位は ml/min) が使用されるのです。イメージは図1を参考にしてください。
腎機能悪化の原因には、糖尿病を筆頭に高血圧など生活習慣病が含まれます。注意しなければならぬものに、みなさまが何気なく服用して

図1 個別化で薬剤量を適正に！



いるサプリメントも原因になることがあります。特に腎機能に応じて内服量を調整しないといけないお薬については、ご自身の腎機能にあった内服量の調整が必要です。この際、個別化eGFRの値を確認して、薬剤が適正に使用されることで薬剤による腎機能の悪化防止が可能となるわけです。

当院では、患者さん毎の腎機能を参考にして、医療者がそれぞれの患者さんに合った処方導き出せるようになさまざまな取り組みをしています。腎臓内科外来や、入院棟薬剤師の指導時にシールを貼って腎機能障害が分かるように示し、CKD教育入院や、糖尿病性腎症進行予防プログラムでは、薬剤師指導により薬剤量の調整を行っていました。今年からは京都府薬剤師会と京都腎臓医学会が協働して薬手帳のみならず、マイナカードなどにCheckCKDシール

を貼付し注意喚起を行う活動に参加することになり、これまで使用していたCKDシールが新しくなります (図2)。

図2 CKDシールが変わります



また、電子カルテでは、個別化eGFRが利用できるように現在システム情報科、検査科と協働し計算ツール導入を進めています。

人生百年、腎生100年がかなうよう皆さんと一緒に腎臓を守る活動を続けたいと思います。



システム情報科にて



どうなる褥瘡？ どうする褥瘡？



形成外科 部長
河合 勝也

2025年には後期高齢者の増加による超高齢者社会を迎えます。それに伴い、すでに褥瘡の形態、予防や管理など様々な変化がみられてきており、2025年問題への対応が必要となつていきます。また、在宅や施設での褥瘡管理が重要な役割を担ってくることとなります。

1998年に褥瘡や創傷の医療・ケアにかかわる多職種が集まり日本褥瘡学会が発足しました。当初、浅い褥瘡は保存的治療とし、深い褥瘡は外科的治療を皮膚科や形成外科が中心に行っていました(図1)。それでも治療に難渋するほどの難治性となる褥瘡も多々みられたため、「早期発見、早期対策」へと意識改革が行われ、褥瘡予防・管理ガイドライン

図1 仙骨部褥瘡



穿通枝皮弁による手術治療

も作成されました。病院では褥瘡対策委員会が設置され、褥瘡回診を行い褥瘡管理・教育により、院内では深い褥瘡の発生はみられなくなってきました。そして次に「発生予防」の段階へと進んでいます。しかし、これらは病院内での話であり、今でも褥瘡の拡大や感染による状態悪化により紹介や救急搬送がなくなつたわけではありません(図2)。

図2 仙骨部褥瘡



ポケット内感染により自壊排膿

現在、当院では2段階に分けて褥瘡治療を行っています。まず、軟膏や創傷被覆材、場合により外科的に壊死組織を除去して治癒に向けた創床環境を整えます(wound bed preparation)。次に

湿潤環境を維持して肉芽組織形成および上皮化を促します(moist wound healing)。浅い褥瘡では軟膏や創傷被覆材を傷の状態により使い分け、深い褥瘡では、陰圧閉鎖療法(negative pressure wound

therapy: NPWT)を行い、深部からの肉芽組織形成や創収縮を促します(図3)。それでも閉鎖が期待できない褥瘡は手術治療を行います。

図3 坐骨部褥瘡



③陰圧閉鎖療法開始

①ポケット切開後

④1か月後

②坐骨に達する瘻孔

このように褥瘡の深さにより治療方法は異なりますが、どちらにしても褥瘡治療を行うためには、wound hygiene(創傷衛生)と言われる「洗浄、デブリッドマン、創縁の新鮮化、創傷の被覆」が必須です。

図5 日本褥瘡学会
近畿地方学術集会



しかし、治療が上手に進み褥瘡が閉鎖したとしても、元通りの生活に戻れば当然褥瘡は再発します(図4)。そのため、在宅や施設においてマットの選定、ポジショニングを含めた管理をしっかりと行い、褥瘡発生予防の実践が必要となります。

図4 仙骨部褥瘡



③再発の繰り返し

②創閉鎖

①褥瘡の再発

第2回

検体検査について

前回の「生理検査」のお話引き続き、今回は臨床検査の中でも「検体検査」についてご紹介させていただきます。



検査科 係長
加藤 香代子

1. 臨床検査の種類

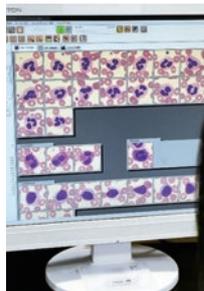
検査の種類	検査する対象	主な検査
生理検査	直接、患者様の身体を調べます	心電図、呼吸機能検査、脳波、聴力、筋電図、超音波検査（エコー）など
検体検査	患者様から採取した血液、尿、便、脳脊髄液、胸水、腹水、組織などの検体を分析します	生化学・免疫検査、血液検査、一般検査（他にも輸血検査、微生物検査、病理検査などがあります）

2. 検体検査について

外来棟2階の採血室に隣接した第一検査室では生化学・免疫検査、血液検査、一般検査がワンフロアに集結し、検尿や採血された検体は迅速に検査へと進んでいきます。検査項目に最も適した採血管を使用する必要があるため、採血管の種類や本数は様々です。採血後そのまま分析機で直ぐに測定できるものもあれば、十分に血液を凝固させてから遠心分離して採取した血液の上澄み（血清や血漿）を分析するものがあり、複数の技師が分担して精度の高い検査結果を可能な限り迅速に提供できるよう心掛けています。

2 血液検査

貧血や炎症などをみる血球計数検査、出血傾向や血栓傾向をみる凝固線溶検査、末梢血液細胞や骨髄細胞を顕微鏡で観察する形態学的検査を行っています。自動血球分析機により血液中の白血球、赤血球、血小板といった有形成分の数を測定し、必要に応じて血液塗抹標本を顕微鏡で観察することで白血病やリンパ腫といった血液疾患の早期発見にも尽力しています。血液には血液を固める凝固成分と、一度固まった血液を溶かす線溶成分があり、これらを測定することで出血及び血栓症の原因や病態把握、血液をサラサラにする薬剤の治療効果やモニタリングなどを行っています。末梢血液細胞で血液疾患が疑われる場合には血液細胞の産生工場でもある骨髄から造血細胞を採取する検査が実施されます。骨髄塗抹標本を観察し造血細胞の成熟や分化、異常細胞の出現の有無、病期の診断、治療効果などを判定する重要な検査であるため、専門的知識の習得のみならず週1回のカンファレンス参加により医師との情報交換も頻繁に行っています。他にも造血幹細胞移植関連の特殊な検査も担当しています。



1 生化学・免疫検査

血清中の酵素、脂質、糖質、無機質、ホルモンなどを測定し、肝機能や腎機能を把握したり、脂質異常や糖尿病、甲状腺機能や心機能など各臓器の異常を分析したりしています。他にも腫瘍マーカー、肝炎ウイルスなどの感染症検査など検査項目は多岐にわたり名前を見ただけでは何の検査が少しわかりづらいかもしれませんが、いろいろな組み合わせで体調の変化を見つけることが可能です。ほとんどが機械化されているため大型の自動分析機で少量の検体から多数の検査項目が同時測定できますが、毎日の内部精度管理を厳重に行うとともに異常値の確認（再検査の判断や医師への至急連絡など）を行っています。



3 一般検査

血液以外の尿、便、体腔液、髄液などの性状検査、顕微鏡検査を行っています。尿検査は簡単に採取でき、しかも比較的多くの生体情報が得られるため診察前の有用な検査になります。尿中に糖やたんぱく質などが出ているかは自動分析機を用いて測定していますが、尿の細胞を顕微鏡で観察して腎臓の病気や尿路感染症の発見にも役立っています。便検査では潜血反応や寄生虫卵検出を行い、髄膜炎、脳炎などを疑うときの脳脊髄液検査、関節液、精液の検査なども担っています。



3. 臨床検査の役割

自覚症状があっても無くても検査を受けることは様々な病気の診断や治療効果の判定にとって非常に重要なステップとなります。採尿や採血で得られた検査結果を医師が判断し、そこから必要な処置や投薬が開始するといっても過言ではありません。ISO15189という厳しい国際規格を取得した検査室として日々進化する最新医療にも対応し、大勢の患者様が来院される外来においては待ち時間を少しでも軽減できるよう、検査の品質向上と効率化を図るべく努力を続けてまいります。



Topic News

このコーナーでは、日頃皆さんが気にしておられる話題に、当院のスタッフが情報提供を行います。

知トク

情報コーナー

栄養科より「秋のレシピ紹介」

さつまいものきんぴら



【1人分】	
エネルギー	…… 124kcal
たんぱく質	…… 1.1g
脂 質	…… 3.3g
炭水化物	…… 22.5g
食塩相当量	…… 0.4g

作り方

- ① さつまいも、にんじんを4cm位の長さで5mm幅に切る。さつまいもは水にさらして水気を切る。
- ② フライパンにサラダ油を入れて熱し、さつまいも、にんじんを入れて1~2分炒める。
- ③ ★を加えて炒め合わせる。
- ④ 仕上げにごま油、黒ごまを散らして完成!

秋のレシピ

◆材料 (1人分)

- さつまいも …… 60g
- にんじん …… 20g
- サラダ油 …… 2g
- ★こいくち醤油 … 2.5g
- ★みりん風調味料 … 2g
- ごま油 …… 1g
- 黒ごま …… 0.3g

栄養科によるブログも随時更新しています。

https://www.katsura.com/department_blog/index.html#nutrition





私たちは、真心を添えて看護します。

ナースの 広 場
Nurse Square

外来化学療法センターのご紹介



がん看護専門看護師
緩和ケア認定看護師
看護部 係長 森 井 淳 子

外来化学療法センターは、がん薬物療法や生物学的製剤の点滴を行う専用の治療室で、C棟2階にあります。心地のよいBGMが流れる室内に、リクライニングチェアとベッドを配置し、患者さんができるだけリラックスして治療を受けていただける環境作りを心掛けています。

近年、がん薬物療法の副作用を緩和するための治療が進歩し、外来でも安全に治療を受けて頂けるようになりました。これまでのように自宅で日常生活を送りながら治療に取り組むことができるため、外来で治療を受ける患者さんは年々増加しています。当院の外来化学療法センターは、治療件数増加に伴い19床から25床に増床となり、これまで以上にゆとりとした環境で

治療を受けて頂けるようになりました。

スタッフは、がん薬物療法の専門知識を持つ医師、看護師、薬剤師、社会福祉士等が連携し、患者さんに安心して治療を受けていただけるようサポートしています。ご病気や治療による身体的なつらさや不安だけでなく、生活面での様々な気がかりなど、遠慮なくご相談ください。



連携医

地域の皆様により良い医療を...

ネットワーク

「連携医」とは、日頃より患者さんを紹介していただくだけでなく、当院からの患者さんを受け入れて対応していただける医院・診療所の先生です。

久世診療所

所長 光吉 明



医学博士、日本外科学会指導医・専門医・認定医、
日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医、
日本内視鏡外科学会技術認定医、
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本医師会産業医

2022年7月から久世診療所の所長を拝命いたしました、光吉明と申します。よろしくお願いたします。昨年までは大津市民病院で主に肝胆膵領域の癌手術治療に携わっていました。今後は近隣の先生方と協力して地域医療に貢献したいと考えています。当院は高血圧、糖尿病、心臓病、腰痛などで通院されている高齢患者さんが多くおられます。京都桂病院などの高次医療機関と密な連携を保ちつつ訪問診療にも力を入れる予定です。

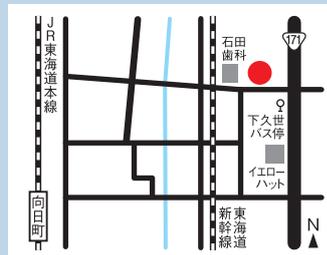
〈光吉〉

京都桂病院には、救急対応や専門的な検査治療などでお世話になっております。久世診療所は地域の患者様のかかりつけ医として京都桂病院とも連携を取りながら、より良い医療の提供を行っていきたく考えています。今後さらにケアマネジャーや訪問看護師、介護支援事業所等と連携を密にとり、在宅で過ごされる患者さんやご家族を支える一助になれるよう、訪問診療も可能な限りお受けしていきたいと思っていますので、ご相談いただければ幸いです。

〈久世診療所 スタッフ一同〉

医院・診療所 DATA

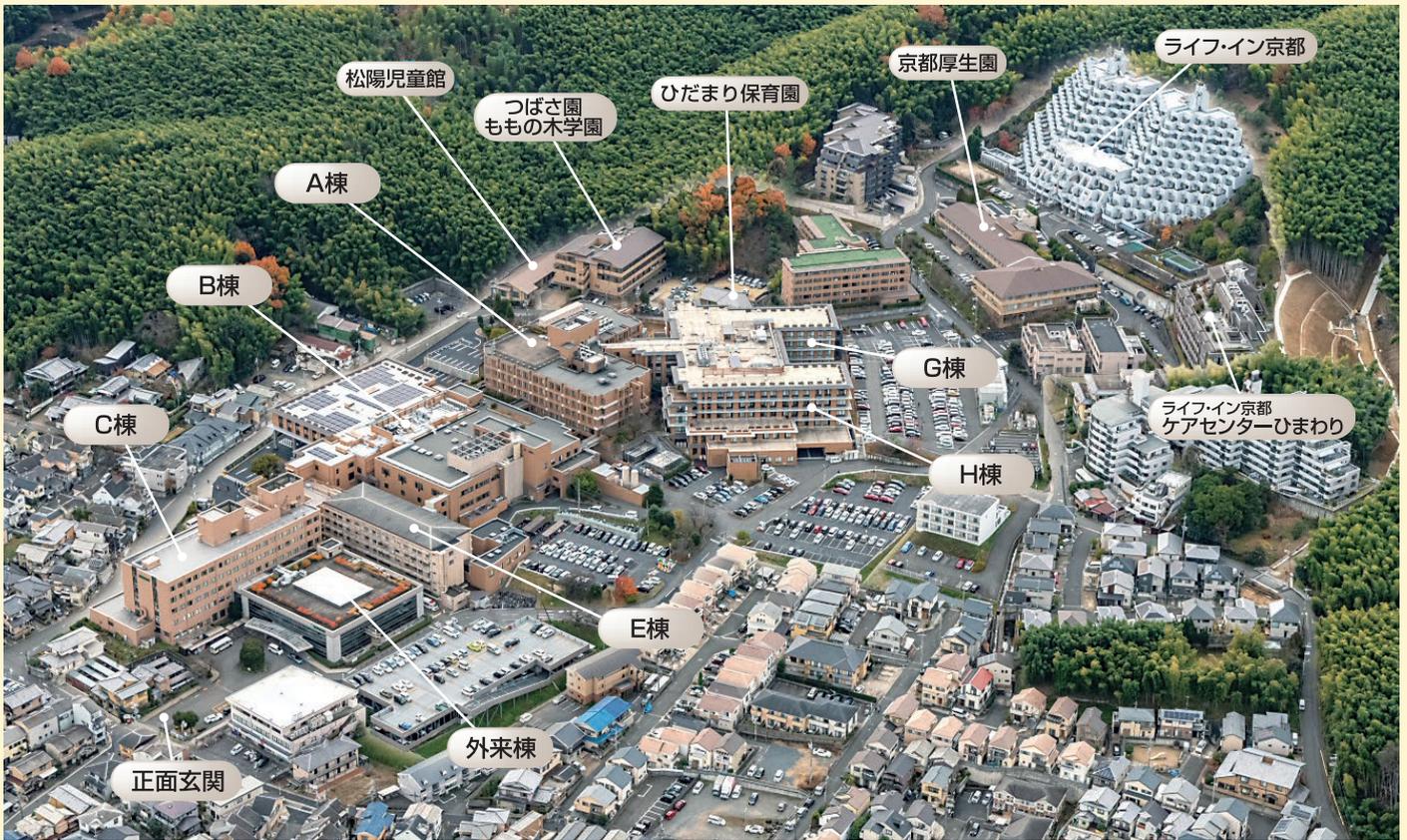
診療科目 内科・外科・
消化器内科・肛門外科



【所在地】京都市南区久世殿城町33
【電話】075-921-3535
【休診日】月・水・金・土 曜午後、日曜、祝日
【受付時間】

		月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	17:30~20:00	-	○	-	○	-	-

※土曜日の第1・3・5週は休診です



許可病床数

● 557床（一般545床：結核12床）

診療科目

- 一般内科 ● 血液内科 ● 糖尿病・内分泌内科
- 腎臓内科 ● 膠原病・リウマチ科
- 心臓血管センター（心臓血管内科・心臓血管外科）
- 消化器センター（消化器内科・外科） ● 乳腺科
- 呼吸器センター（呼吸器内科・呼吸器外科）
- 脳卒中センター（脳神経内科・脳神経外科）
- 整形外科 ● 形成外科 ● 泌尿器科 ● 産婦人科 ● 眼科
- 耳鼻咽喉科 ● 皮膚科 ● 小児科 ● 緩和ケア科
- 精神科 ● リハビリテーション科 ● 腫瘍内科
- 放射線科 ● 麻酔科 ● 救急科

- 血液浄化センター ● 内視鏡・超音波センター
- 健康管理センター

- 京都桂臨床医学研究所（臨床試験センター）
- 京都桂病院付属保育所

関連施設

- 西陣病院 ● 京都からすま病院 ● にしがも透析クリニック
- 京都厚生園 ● 京都桂川園 ● にしがも舟山庵
- 北野保育園 ● 二条保育園 ● 昭和保育園
- ひだまり保育園 ● つばさ園 ● ももの木学園
- 松陽児童館 ● ライフ・イン京都



交通のご案内

市バス

- 73系統（京都駅～洛西バスターミナル）
 - 29系統（四条烏丸～洛西バスターミナル）
 - 69系統（二条駅西口～阪急桂駅東口）
- それぞれ「千代原口」下車、徒歩約10分

京阪京都交通バス

- 21、27系統（京都駅～桂坂中央）
- 「千代原口」下車、徒歩約10分

阪急電鉄

京阪線「桂駅」下車（西口）西へ約1.7km

病院専用送迎バス（約15分）

「阪急桂駅」及び、「JR桂川駅」からは送迎バスを無料でご利用いただけます。



※イオンモール桂川警察官立寄り所前



社会福祉法人 京都社会事業財団

京都桂病院

<https://www.katsura.com>

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地 TEL 075-391-5811(代)